

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-525962(P2004-525962A)

【公表日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2002-580951(P2002-580951)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

C 0 7 J 41/00

【F I】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

C 0 7 J 41/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式II: W-X-G [式中、Gは、要すれば適したアミノ酸と24位で結合する胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルであり；Wは14から22の炭素原子を有する1つまたは2つの脂肪酸ラジカルを意味し；そして、Xは該胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルと該脂肪酸との間の適した結合メンバーまたは直接的C=C結合を意味する]で示される胆汁酸または胆汁酸塩脂肪酸結合体を含有する、血中コレステロールを減少させるための医薬組成物。

【請求項2】

一般式II: W-X-G [式中、Gは、要すれば適したアミノ酸と24位で結合する胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルであり；Wは14から22の炭素原子を有する1つまたは2つの脂肪酸ラジカルを意味し；そして、Xは該胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルと該脂肪酸との間の適した結合メンバーまたは直接的C=C結合を意味する]で示される胆汁酸または胆汁酸塩脂肪酸結合体を含有する、脂肪肝を処置するための医薬組成物。

【請求項3】

一般式II: W-X-G [式中、Gは、要すれば適したアミノ酸と24位で結合する胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルであり；Wは14から22の炭素原子を有する1つまたは2つの脂肪酸ラジカルを意味し；そして、Xは該胆汁酸または胆汁酸塩ラジカルと該脂肪酸との間の適した結合メンバーまたは直接的C=C結合を意味する]で示される胆汁酸または胆汁酸塩脂肪酸結合体を含有する、高血糖および糖尿病を処置するための医薬組成物。

【請求項4】

一般式IIの化合物において結合メンバーがNHである、請求項1から3のいずれか1つに記載の医薬組成物。

## 【請求項 5】

一般式IIの化合物において脂肪酸がベヘニル酸、アラキジル酸、およびステアリン酸の中から選ばれる、請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

一般式IIの化合物が3 -アラキジルアミド-7 ,12 -ジヒドロキシ-5 -コラン-24-酸である、請求項 1 から 5 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。